

# 肥銀リース株式会社

## DX計画

2026年7月1日

1. 代表者メッセージ
2. DX計画の全体像
3. DXビジョン
4. DX戦略
5. 人材育成・IT環境整備
6. DX推進体制
7. サイバーセキュリティリスク取組体制
8. DX戦略指標

弊社はパーパスを、「私達は、お客様、地域の皆様とともに、「モノ」を通して共通の価値を創造することで、グループ一体となって地域社会の持続的な発展に貢献する為に、存在しています。」とし、いつもお客様の一番近くで、お客様に信頼され、地域とともに成長し続ける価値共創企業へ進化する事を目指しております。

「モノ」を中心に考える弊社において、お客様から頂く案件のうちDXに関する案件が非常に多くなってきており、情報機器、通信機器、ソフトウェアに関する検収額は全体の20%に達しております(2024年度)。

また、個々のリースや割賦契約形態は多岐にわたり、その採算計算等にデジタル技術を活用しなければ成り立ちません。

そして、地域の皆様の様々なニーズに応えるためにも営業活動はデータを活用し、渉外端末を有効に活用することで、きめ細やかな提案ができるようにする必要があります。営業担当者はもちろん、営業活動をサポートする部署においても、リモートワークが可能な環境を整えつつありますが、さらにDX化を進める必要を痛感しております。

一方、リース契約は弊社、エンドユーザー、ベンダー 3社が契約当事者として関係しておりますが、中には依然として紙ベースの契約書を希望されるお客様がいらっしゃるのも事実です。そのような方々に当社がDXを活用した、さらに快適なサービスを提供することで、地域全体のDX推進の一助になるのではないかと考えております。

肥銀リース株式会社 代表取締役社長 江藤英一

### 私達のパーパス（社会的存在意義）

私達は、お客様、地域の皆様とともに、「モノ」を通して共通の価値を創造することで、グループ一体となって地域社会の持続的な発展に貢献する為に、存在しています

10年  
ビジョン

いつもお客様の一番近くで、お客様に信頼され、地域とともに成長し続ける『価値共創企業』への進化




### DX推進宣言

テクノロジーとデータを最大限活用した当社の業務効率化を進め、お客様とともに地域のデジタル化に貢献する


- ・DXビジョン：デジタルを最大限活用した価値共創企業
- ・DX戦略1：デジタルを活用したお客様接点強化
- ・DX戦略2：デジタルを活用した業務効率化
- ・DX推進体制：デジタルイノベーション委員会を通じた全社的推進
- ・DX人材育成：社員のモチベーションを促す育成態勢

#### DX推進の必要性

・当社の取り扱い物件の変化  
【情報機器・通信機器・ソフトウェア】       デジタル社会への変化加速  
2018年：18% → 2024年：20%

・働き方の多様化       誰でも在宅勤務が可能な態勢へ（管理業務）

・脱炭素社会の実現、在宅勤務の障害       ペーパーレスの推進

・案件待型の営業       提案型営業への転換：顧客データベースの徹底活用

#### DXビジョン

**データベース活用とテクノロジーを駆使した能動的営業態勢及び  
ペーパーレスとデジタル化で効率化を徹底した事務管理態勢  
を兼備する価値共創企業**

## （１）テクノロジー活用

### ① デジタル技術を活用した最適なお客様接点の提供

- デジタル技術を活用したスピーディーな資料・情報の提供及び双方向コミュニケーションの充実を実践します。

## （２）データベース活用

### ① データ活用による営業推進

- 社内顧客管理システムの利用促進によるデジタル技術を活用した顧客データの収集及びデータベースの充実を推進します。  
これにより、お客様データを可視化し、多面的分析により、データに基づく根拠ある最適提案と継続フォローを実践します。

### （１）ペーパーレス

#### ① 帳票の電子化推進

- 注文書や契約書及び内部資料の電子化に取り組むことにより、事務負担削減や資源の有効活用及び働き方改革を推進します。

### （２）デジタル化

#### ① AI活用及びRPA導入による業務効率化の推進

- AIを活用して最適な提案資料を効率的に作成することにより、業務時間を削減します。また、社内の定型業務をRPA化し、入力・転記・照合等の業務自動化を推進します。これにより、お客様対応に充てられる時間を増やし、より質の高いサービス提供につなげます。

### （３）働き方改革

#### ① テレワーク活用の促進

- 営業・事務が場所に縛られずに業務を進められる柔軟な働き方を促進します。これにより、業務効率や生産性を高めつつ、家庭事情等にも配慮した安心して働ける環境を作ります。

### (1) 人材育成

#### ① IT関連資格取得の推進

- IT関連資格の取得推進により、IT人材を育成します。  
※IT関連資格…ITパスポート、CS評価技能試験、マイクロソフトオフィススペシャリスト他

#### ② 外部企業との連携

- ITベンダーとの連携・協働や情報交換によるノウハウの蓄積を行います。

### (2) IT環境整備

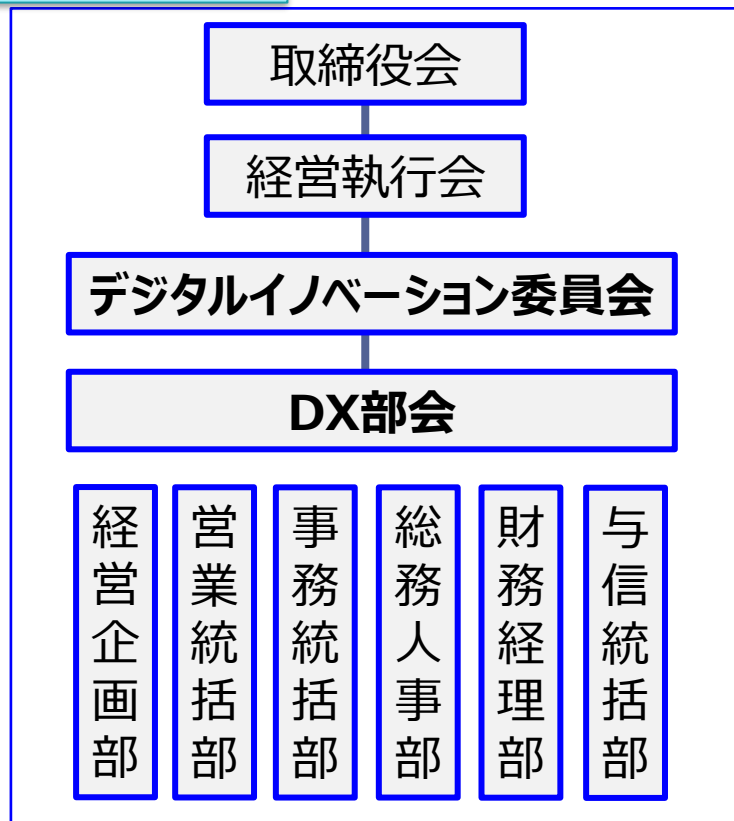
#### ① システムインフラの整備・高度化

- クラウド基盤の継続的な強化による可用性・拡張性の向上により、事業の持続的成長を支えるための柔軟かつ強固なIT基盤の整備を推進します。
- 業務用モバイル端末の活用推進による生産性向上に取り組みます。

#### ② セキュリティ対策の強化

- サイバーセキュリティ対策強化により、安心・安全なサービス提供に継続的に取り組みます。

## 体制図



## 担当部と役割

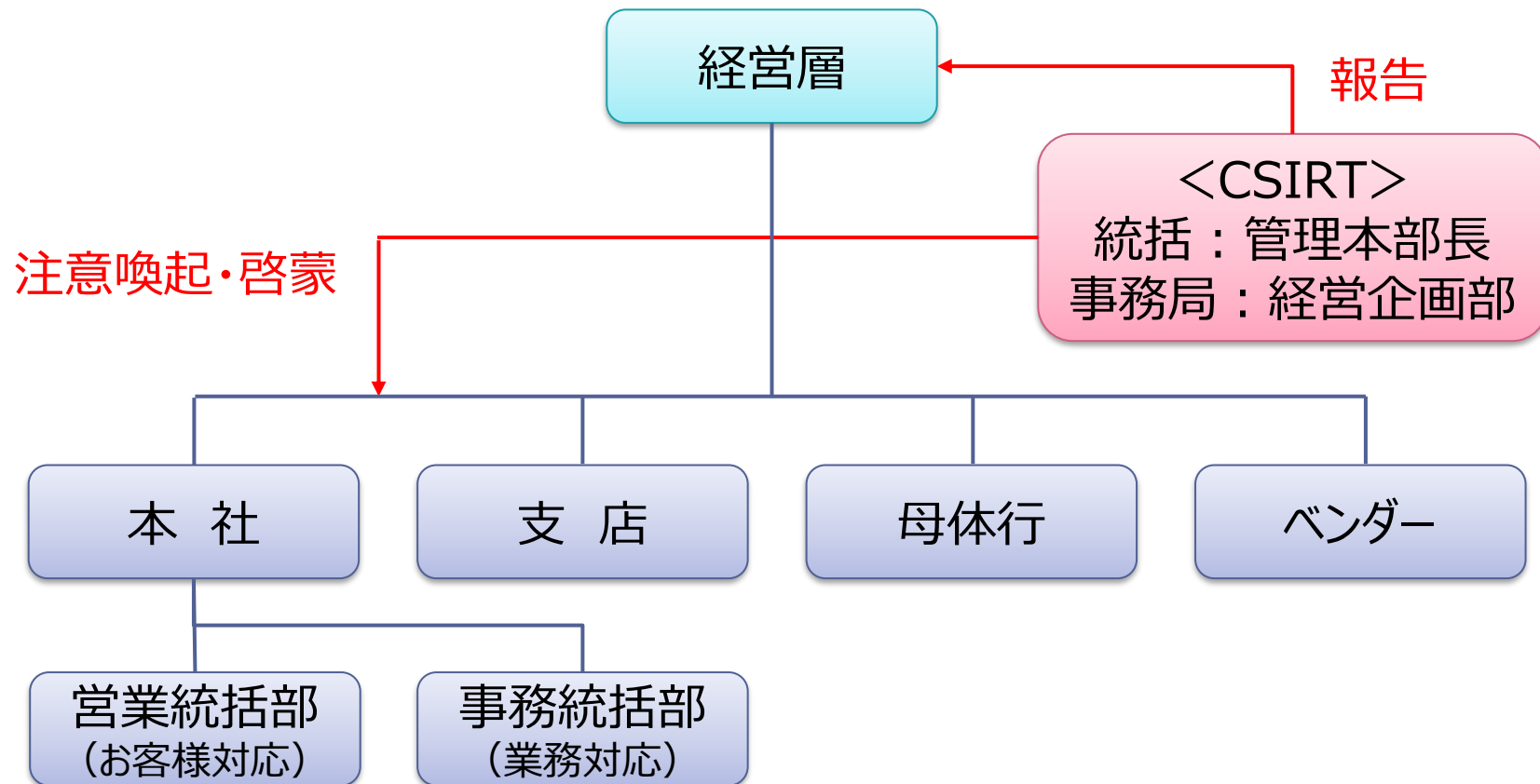
- ・経営企画部 : DX計画進捗管理・DX推進統括
- ・営業統括部 : データベース活用・デジタル推進ツール
- ・事務統括部 : ペーパーレス統括・デジタル事務
- ・総務・人事部 : デジタル人材育成

## 委員会構成

- ・委員長 : 代表取締役社長
- ・委員 : 取締役、執行役員、全部長
- ・主管部 : 経営企画部
- ・担当部 : 営業統括部、事務統括部、総務・人事部

## 部会構成

- ・部会長 : 経営企画部長
- ・DX推進リーダー : 経営企画副部長
- ・メンバー : 営業統括部、事務統括部、総務・人事部、財務・経理部、与信統括部の次席級



### (1) DX戦略（営業戦略）

- ① お客様接点件数
- ② 成約件数
- ③ ビジネスマッチング件数

### (2) DX戦略（事務管理戦略）

- ① 帳票電子化数
- ② 業務プロセス改革数
- ③ 平均残業時間
- ④ エンゲージメント調査結果

### (3) 人材育成・IT環境整備

- ① IT関連資格保有者数

以 上